

今年の体育祭は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定していた5月には実施できず、10月13日に生徒だけの実施となりました。今回は、体育祭実行委員長、2年生の野本さんに話を伺いました。

*体育祭実行委員長をやると思ったきっかけは何ですか。*

中学生の時に文化発表会の実行委員長をやった経験があり、高校でもやってみたいと思いました。光陵高校での足跡を何か残したいという思いもありました。

*感染防止策を講じながら、体育祭を実施するにあたり、どんな工夫をしましたか。*

応援団をメインで考えていました。応援練習の段階では、練習場所を指定し、換気を徹底し、人数の制限を設けました。耐震工事がまだ始まっていなかったため、2棟の教室を借りることができたのは良かったです。室内では、必ずマスクやマウスシールドを着用した上で、対面にならないようにし、なおかつ声出しはしないこととしました。練習期間も短かったこともあり、結果的に広いグラウンドでの声出し練習は限られた回数でした。それでも、各色の応援団員は皆協力的でした。

*生徒の皆さんも、コロナ禍で感染者を出さないようにという思いがあったのでしょうか。*

応援も、従来は、拍子とダンスとで構成していますが、今回は拍子だけでした。1年生と2年生との間に溝ができてしまわないようにという心配もしていましたが、2年生の応援団を中心にうまくやってくれたので、良かったです。

*本来なら、4月に実施する予定だった対面式を改めて実施することにしましたね。*

はい。今回は、受験に向かう3年生に応援のエールを送るということにしました。ところが一般の2年生にどう関わってもらおうかと考えた結果、対面式で2年生が見本を見せることで、関わってもらおうということになりました。結果的にはやって良かったと思います。

*当日はどうでしたか。*

おかげさまで、時間も順調に進行しましたし、全体的にスムーズにいったと思います。



各色の演技を、3年生もしっかり見て拍手を送っていましたよね。皆さんのエールが届いたのではないのでしょうか。来年に向けてはどうですか。

今、思い返すと、もっと早い段階から準備にあたらせたらという思いもあります。1年生は体育祭の全体を経験していないので、来年もサポートできたらと思っています。

体育祭を終えた今、思うことはありますか。

自分の思いを伝えることが大事で、その一言を伝える勇気が必要だなと思いました。

ところで、光陵高校での生活はどうですか。

充実した高校生活を送っています。光陵生は、それぞれ自分のポリシーというか自分の世界をもっている人が多いので、楽しいです。いろいろなことを進めていくときに、意思を通すことも、ゆずることも必要だということを感じます。ザ・学生という感じです。

将来はどんなことを考えていますか。

英語が好きなので、海外に行って仕事をしてみたいと思っています。いろいろなことに冒険したり、チャレンジしたりしてみたいと思います。そのためには、基礎学力も必要だし、挑戦するからには、自分に自信が持てるように、日々取り組んでいきたいと思っています。

これからの活躍を楽しみにしています。今日は、どうもありがとうございました。